

自然観察 NOW

NO.85

野幌森林公園自然情報

発行：2025年3月20日

北海道ボランティア・レンジャー協会

ホームページ <https://voluran.com/>



春一番の雰囲気を醸すヤナギ類

野幌森林公園自然ふれあい交流館の周辺で一番先に開花する樹木はヤナギである。当公園ではヤナギ科は、バッコヤナギ、イヌコリヤナギ、オノエヤナギなど11種類が生育し、初春の公園でかわいらし姿は目を引き付ける。幸い、虫媒花であり人間にアレルギー症状を引き起こすことはなく、春を謳歌することができる。ヤナギ類は成長が早く、再生能力も高いため、バイオマス資源として注目されている。

ヤナギ類のバイオマス利用の利点

* 成長が早い: 短期間で成長するため、持続可能なバイオマス資源として利用できる。* 再生能力が高い: 伐採後も萌芽再生するため、植え替えの必要が少なく、効率的な資源利用が可能である。* 多様な用途: 燃焼による発電や熱利用、バイオエタノールなどの液体燃料、木質ペレットなど、多様なエネルギー利用が可能。* 環境への負荷が低い: 化石燃料に比べて、二酸化炭素の排出量が少ないため、地球温暖化対策に貢献。* 遊休地の活用: 耕作放棄地などの遊休地を活用して栽培で、土地の有効活用可能。



樹種の生育相

河畔林では地形にともなう立地環境の違いに応じて多様な樹種が棲み分け、冠水に強い樹種ほど水辺近くに生育する。根圏の水分含有量により樹木の生育環境で生育樹木代表樹種として、ヤナギ類、ハンノキ類、ヤチダモ、ハルニレ、オニグルミ、オヒョウ、カツラなどがある。野幌森林公園は野幌丘陵にあり、小さな沢があり、伏流水は存在せず、土壌は降下した火山灰の物理性が強く影響し、雨水の排水不良地が多く、ヤチダモが主体的な生育林が多く存在する。土壌の透水性不良の粘土性土壌は、江別市を国内最大のレンガ生産地とした。



自然公園（森林）の役割と意義

自然公園を構成する森林は、地球上の生命維持に不可欠な役割を果たし、多岐にわたる機能を持っている。以下に、森林の主要な機能と、現代社会における重要性について解説する。

1 地球環境の保全

- * 二酸化炭素の吸収と貯蔵: 森林は光合成によって大気中の二酸化炭素を吸収し、炭素を木材や土壌中に固定する。これにより、地球温暖化の進行を抑制する重要な役割を果たす。
- * 酸素の供給: 光合成の過程で酸素を生成し、地球上の生命活動を支える。
- * 水資源の涵養: 森林は降水を土壌に蓄え、河川や地下水の水源となり、土壌浸食を防ぎ、土砂災害を抑制。
- * 気候の調節: 森林は蒸散作用によって気温の上昇を抑制し、局地的な気候を安定させる。

地球環境の保全（温暖化の防止）は地球規模の問題であり、国際的な協力が実践されている。

* パリ協定

- * 世界の平均気温上昇を産業革命前と比較して2°Cより十分低く保ち、1.5°Cに抑える努力をする。
- * 温室効果ガスの排出量を早期にピークアウトさせ、今世紀後半には排出量と吸収量の均衡を達成する。

私たちにできること：地球温暖化対策は、政府や企業だけでなく、私たち一人ひとりの行動も重要である。
*省エネルギーを心がける*公共交通機関を利用する*地産地消や旬の食材を選ぶ*食品ロスを減らす*リサイクル・リユースを心がける*環境に優しい製品を選ぶ*地球温暖化について学び、周りの人に伝達。

2 生物多様性の保全

- * 多様な生態系の維持：森林は多種多様な動植物の生息地であり、生物多様性の保全に貢献する。
- * 遺伝資源の宝庫：*森林には未知の生物や有用な遺伝資源が豊富で医薬品や新素材の開発に役立つ可能性。（事例：2015年にノーベル生理・医学賞を受賞した大村智博士はゴルフ場の土壌から「イベルメクチン」の元となる放線菌を発見。）

3 人間社会への貢献

- * 木材資源の供給：* 森林は建築材料、家具、紙などの原材料となる木材を供給する。
- * 林産物の供給：

きのこ、山菜、果実などの林産物は、食料や特産品として利用される。食品事例（山菜：タラの芽、コシアブラ、シナモン（クスノキ科樹木を乾燥したスパイス）、メープルシロップ、白樺の樹液、朴葉味噌）

- * 漁業環境の整備

（えりも岬周辺「えりも町の百人浜緑化事業」：えりも岬は、明治以降、木々の伐採や家畜放牧で、原生林は消滅し、えりも岬特有の強風にさらされ、大地は砂漠化。大地は、強風によって赤土が舞い上がり、海上10km沖合にも達し、海藻類は根腐れ、回遊魚や沿岸の魚も減少。戦後、本格的なえりも岬の緑化事業がスタート。何年もの試行錯誤の結果、道内に自生しないクロマツを植林し、50年近く経った現在、植林の成果で、海には回遊魚が戻り、海藻類の漁業が復活。）

（サロマ湖周辺地域：「お魚殖やす植樹運動」。森林を整備し、川経由で海に栄養分が流れ込み、プランクトンの増加で、ホタテ貝などの漁獲量増加に貢献。）

- * レクリエーションと観光及び文化の育成：森林はハイキング、キャンプ、森林浴などのレクリエーションの場として、自然散策での自然浴（フィトンチッド）の効果で人々の心身の健康に貢献。

* 視覚的な癒し：森林の緑は心にリラックス効果を、木漏れ日や風景は、穏やかにストレスの軽減。

* 聴覚的な癒し：小鳥のさえずり、川のせせらぎ、風の音などは「1/f ゆらぎ」含み、心を癒す。

* 嗅覚的な癒し：森林の香り成分であるフィトンチッドは、免疫力向上効果あり、木の香りや土の香りは、心を落ち着かせ、安らぎを与える。

* 触覚的な癒し：木の温もりや土の感触は、自然との一体感を感じさせ、心を癒す。

参考 1 北海道立林業試験場「河畔林のはたらきとつくり方」 2 えりも町HP 3 google「Gemini」



今後の観察会の予定

- 4月17日(木)「春のありがとう観察会」 9:50~12:00 野幌森林公園 自然ふれあい交流館集合
テーマ：早春の花観察、野鳥観察、ゴミ拾い
コース：A) 桂コース、B) エゾユズリハコース 各往復2km